



NANPORO



FUKUSHIKAI



施設紹介パンフレット

NANPORO MIDORIEN



Panasonic

目次

P1. 社会福祉法人 南幌福社会 基本理念

P2. 社会福祉法人 南幌福社会 行動指針

P3. 期待する職員像

P4. 北海道を代表する企業100選に選出

P5. 各種委員会〔現場委員会〕

P6. 委員会のご紹介

P7～8. good楽つく！委員会

P9～10. 自立支援推進委員会

P11～17. ICT機器のご紹介

P18. SNSご紹介

NANPORO MIDORIEN

社会福祉法人 南幌福祉会

「南幌福祉会は、人々が幸福になる為に存在する。」

南幌町及び近隣に住む多様な人々が、安心して暮らせるように支援させていただくこと。
施設においては、それを利用する人のみならず、
そのご家族をも支える地域の福祉拠点として
第一線に立って皆様のご期待に応えていくこと。
南幌町の福祉サービスの拠点として、高齢者・ご家族の
信頼を法人設立の経緯を踏まえて、
地域に住まれている住民が住み慣れたところで
支援をしていくこと。
安心して生活が送れるよう、事業の特性を生かして、
法人が存在していくこと。

NANPORO MIDORIEN

行動指針

私達は、「自分や家族が入所したいと思える、施設づくり」
を目指します。

私達は、「自分や仲間が働きたいと思える、施設づくり」
を目指します。

私達は、「地域やその住民から必要とされる、施設づくり」
を目指します。



期待する職員像

現実を嘆くのではなく、目標達成に向けて努力することができる者



介護の魅力・やりがいを伝えていける者



自らの成長、仲間の成長、チームの成長に投資できる者



南幌みどり苑の取組みが評価！！

北海道を代表する企業

Best 100 Companies Selected By Made In Local



社会福祉法人 南幌福祉会は「北海道を代表する企業100選」に選出されています。代表する企業100選とは、「地域がいま、面白い！」をコンセプトに、全国各地で活躍している企業を特集。

本気で地域のことを想っている。本気で地域の未来のために活動している。その想いを、その活動を、「地域貢献」という4文字で終わらせるなんてもったいない。本気の地域貢献にこそ、目に見える証が必要だと考え選出されるのが

「北海道を代表する企業100選」です。

「その地域で雇用創出をしているか」、
「地域住民に愛されているか」など厳正に
審査し各地域エリアで100社だけが選ばれる
ブランド認証となります。

01 企業のこれまでとこれから

御社の創業から現在に至るまでの歴史について、転換点となった出来事を含めて教えてください。

南幌町に特別養護老人ホームを設立させるという構想のもと、行政の福祉政策の一環として「社会福祉法人南幌福祉会」は昭和58年6月に設立認可を受け発足しました。その後、昭和59年4月に特別養護老人ホーム南幌みどり苑の事業を開始。近隣市町村の行政機関より、多くの入所希望があり満床での事業運営を継続してまいりました。介護福祉業界の大きな転換期として、平成12年の介護保険制度設立がございます。これにより「措置」から「契約」へと移行し、選ばれる介護事業所になるため、サービスの質が問われるようになりました。当法人でも、南幌町の福祉拠点として地域の皆様に還元してゆけるようニーズや法制度に沿った事業展開をしております。



<https://madeinlocal.jp/category/companies/hokkaido038>

各種委員会〔現場委員会〕

優先入所判定委員会

感染症対策委員会

身体拘束適正化委員会

褥瘡防止委員会



虐待防止委員会

事故防止委員会

自立支援推進委員会



good楽つく！委員会

広報委員会

行事委員会

みどり苑まつり実行委員会

委員会のご紹介

優先入所判定委員会

入所決定過程の透明性・公平性を確保すると共に、施設入所の円滑な実施に資する事を目的としている。
四半期に一度の頻度で開催している。

感染症の予防、検証、内部研修の企画及び実施。
平常時は月に一度の頻度で開催。
その他、適時状況に応じて緊急開催している。
※コロナBCP(マニュアル)整備済み。

感染症対策委員会

身体拘束適正化委員会・虐待防止委員会

身体拘束・虐待防止の検証、内部研修の企画及び実施。
隔月での開催。

褥瘡の予防や検証、内部研修の企画及び実施。
月に一度の頻度で開催。

褥瘡防止委員会

広報委員会

ホームページ、広報誌に関すること、外部への情報発信(SNS等)を実施。月に一度の頻度で開催。
ホームページの他、YouTube、Facebookページあり。

年間行事予定に基づく、イベントの企画・運営。
月に一度の頻度で開催。

行事委員会

みどり苑まつり実行委員会

みどり苑まつりの企画、運営の管理。
(開催は7月中旬から下旬を想定)

事故の防止、対応、事故原因の究明、研修の実施等を開催。
月に二度の頻度で開催。

事故防止委員会

good楽つく！委員会



good楽つく！委員会とは

- ・ただただご利用者の幸せを願うこと
- ・現実を嘆くのではなく、目標達成に向けて努力することが出来る者を目指す。
- ・現場の職員の声を発する機会を設け、チームとして検討、実施することで業務改善を行い、サービスの質の向上、スキルアップを図る。
- ・活動を通し、職員の自発性を促し、施設全体の活性化を図る。
- ・達成感を味わい、「やりがい」に繋げる。



構成メンバー

各部門1名ずつ、主任職以外の職員

開催頻度

月に2回 時間:30分～1時間/回

任期

一事例終結まで3カ月程度とし、事例ごとに構成メンバーを検討

good楽つく！委員会

*はじめに



「こうしたいな」「こうなればいいのにな」等の声を集約。
「～が出来ていない」「～だからダメなんだ」というネガティブな発言
ではなく、**ポジティブ**な発言を心掛ける。



①テーマの選定

「何のために」という目的を明確にして、妥当性と実現可能性のあるテーマを選定。

	重要度	自立 と 自律性	幸福度 (ご利用者)	やりがい (職員)	点数
お買い物が出来るようになる	◎	◎	◎	◎	20
食事が更に楽しめる	◎	○	◎	○	16
毎日散歩ができる	◎	○	○	○	14
お化装の機会が作れる	○	○	◎	○	14
アニマルセラピー導入	△	○	◎	○	12



- ・ご利用者が自分で選び、買い物をする機会がない。
- ・コロナ禍でご家族からの差し入れの機会が減少した。
- ・買い物をするという行為が自立・自律した生活の実現の可能性が高い

☆波及効果

セイコーマート 南幌みどり苑店オープン



デイサービスのご利用者の「コロナで買い物も大変になって…」 「送迎中に買い物出来ないの？」との声にお応えすることにも繋がり、集客アップ



令和3年度全国老人福祉施設研究会議(鹿児島会議)
第3分科会 最優秀賞受賞
演題:good楽つく！～TQM委員会のすすめ～

自立支援推進委員会



自立支援推進委員会の目的

南幌福祉社会に関わる全ての人々が、あたり前という幸せを感じられること。
それが南幌福祉社会の自立支援。

支援者(職員)目的

自立支援に基づくケアを提供する中で、「何を目指せばよいのか」を明確にし、ケアを提供すること。

ご利用者目的

自立に向けたケアのもと生活する中で「何のためにケアサービスを活用すればよいのか」を明確にし、支援者と目的を共有すること。

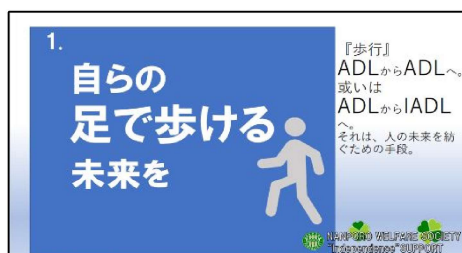
※自立支援において重要なのは、ご利用者と職員、または職員同士が望んだゴール、
定めたゴールを互いに共有すること。
誰が見ても理解できるツールを導入することにより、取組をシステム化。



HAPPY GOALS

自立支援において、「ご利用者」、「職員」、「環境」の3つの要素が存在すると捉え、
それらが調和した状態を創り出すために制定した12のゴール。
それが「HAPPY GOALS」※みどり苑式 自立支援の形

自立支援推進委員会



HAPPY GOALS

12の制定したゴールの内、年間3つの目標を設定し、取組を実施。

令和3年度全国老人福祉施設研究会議(鹿児島会議)

第1分科会 奨励賞受賞

演題:「HAPPY GOALS」

～生きるを支える12のゴール。それが南幌福祉会の自立支援～



変化を成長として捉え、挑戦してゆく！

介護技術向上には、どれだけ精度を上げても限界がくると考えます。

南幌みどり苑ではそれが「距離」によるものでした。

私達は、介護技術の限界を突破してゆくために、必要なツールだと捉えておりますし、人はスーパーマンではありませんが、人が創ったツールでそれを超えてゆけるということを実感しております。

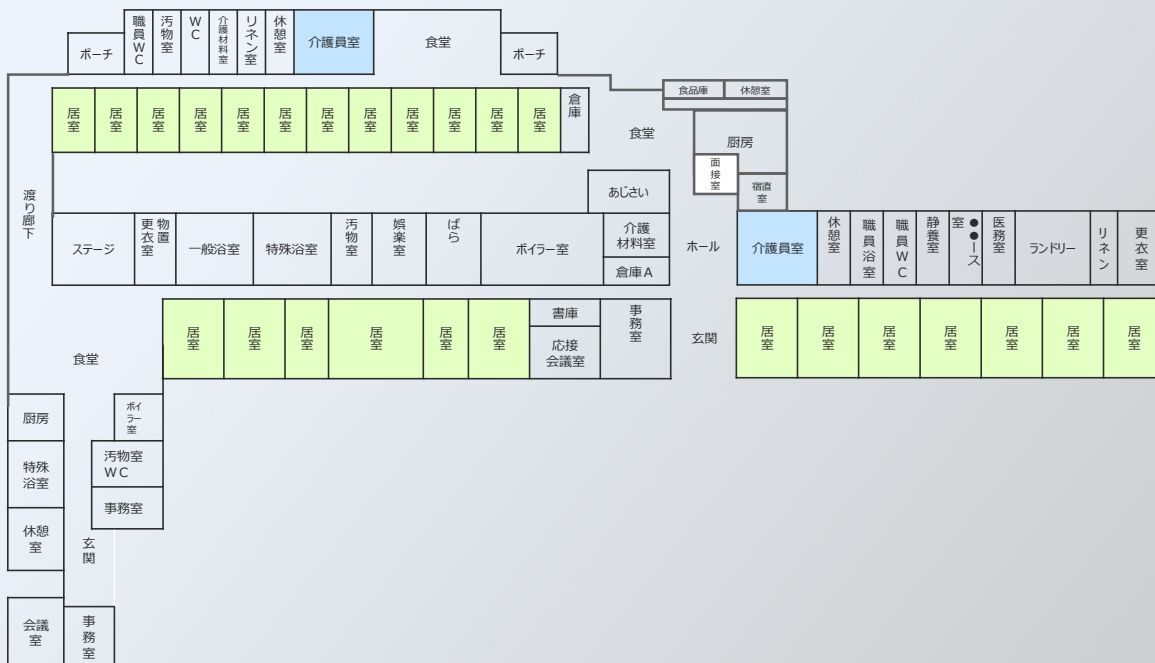
私達は、ICT機器を活用し、ご利用者の自立支援、満足度の向上、職員の働きやすさ、満足度の向上を追求します！

ICTとは人と人を繋ぐことで人々に幸せをもたらすツールの総称です。

施設長 佐久間 竜太

ICT機器の導入にあたって

課題は〔距離〕



施設内は3棟に分かれており、夜間帯は各棟に介護職員が1名ずる配置。ナースコール等、ご利用者対応を行うことで死角が生まれる。

フロアを離れる際も、どこの部屋に誰のところに、何の対応をするのか、他職員に伝える手段がない。

離床しているのか、臥床しているのか、入眠しているのか、危険はないか、確認する手段は訪室しか方法はありません。
一度の移動距離は最長で約50mで、時間も要する。

Mission 使命

ご利用者満足度の向上 / 職員満足度の向上

Vision 目標・目的

ICT機器の導入により〔距離〕という壁を突破してゆく。

パナソニックライフレンズ



ライフレンズとは

パナソニックの見守り介護ロボットです。
パナソニックのセンシング技術によって、ご利用者の居室での状態や生活リズムをリアルタイムで把握することが可能。
「ヒト」の五感に代わる見守りにより、スタッフの精神的・時間的なゆとりを生み出し、介護サービスの品質向上を実現します。

バイオシルバー aams



aams(アアムス)とは

心拍、呼吸、体動、離着床、睡眠の状態などを離れた場所から見守りことができる、マット型の見守り支援介護ロボットです。
訪室の合間もaamsが24時間ご利用者の様子を見守ることで、見守りのサポートを行います。センサーマットは、マットレスの下に敷くだけで簡単に設置ができます。
ご利用者の体には何も付けないため、通常時と寝心地が変わらず、違和感なく使用できます。

フランスベッド 見守りケアシステムM2



見守りケアシステムM2とは

ベッド上での動きを通知したり、体重測定も可能なベッド内蔵の見守りケアシステム(介護ロボット)です。

ベッド上での動き出し、起き上がり、端座位、離床、離床管理(ベッドに戻らないことを通知)の5つの通知モードからそのご利用者に適した設定を行う事ができます。体重測定は履歴表示も可能で、当月の平均体重も把握することができます。

ベッドがご利用者の状態と安全を見守り、介助負担を軽減します。

ジーコム ココヘルパG



ココヘルパGとは

従来のナースコールの使い勝手をそのままにスマートフォン対応したココヘルパGは、ベッドに直接設置ができます。
呼び出し時に同時会話ができることで、スムーズに意思疎通を図れ、適切な駆け付け対応が可能です。

アルインコ インカム



インカムとは

ヘッドフォンとマイクが一体化した機器で、敷地内や施設内で複数人と連絡を取り合うことができます。
トランシーバーなどの他の無線機と違い、送話者と受話者が同時に会話することができるという大きな特徴があります。

社会福祉法人 南幌福祉会のホームページ



<https://www.n-fukushikai.or.jp/index.php>

社会福祉法人 南幌福祉会のFacebookページ



<https://www.facebook.com/nanporomidorien>

社会福祉法人 南幌福祉会のYouTubeページ



<https://www.youtube.com/@user-mx4ot6bo2d>

社会福祉法人 南幌福祉会のInstagramページ



https://www.instagram.com/n_fukushikai/

